

峠を越える前の
おやつ補給に
寄ってみて

ふじはし せいこ
藤橋 征子さん
藤橋商店ひまわり 店主

昭和17年、岩手県釜石市生まれ。
震災後、三陸鉄道の唐丹駅前に藤橋商店ひまわりを開店。

震災前、大槌町で娘家族と経営していたコンビニは、被災して店舗が流されました。ダンプが行き交い砂煙上がる毎日、街の復興なんて先がわからないという中、当時69歳の私は、更地になった街を目の前に、年金だけで暮らしていけない、自分で稼がなくては、と働く意欲満々でした。地元の人たちから声がかかり、自分の店を開こうと決意。ひまわりを開店したのは2011年9月20日、震災から半年後でした。当時は三陸沿岸道路など復興工事の作業員や関係者、ボランティアなど沢山の人が買いに来てくれて、忙しくも楽しい毎日でした。昔飲食店で働いていた経験を生かして、手作りおでんなどを店先で出していた時もあり、喜ばれたんですよ。ところが三陸沿岸道路が完成し、車の往来がパタリと減って、すっかり売り上げも落ち込みました。復興のための道路であったとはいえ、同じような影響を受けている事業者さんは多いと思います。残念ながらここもいつまで続けられるか分からないかな。1日のお客さんがパラパラと少ない中、ここ数年ふらりと訪れる旅人のような人たちがいます。聞けば私たちが昔バスで通った道や、その奥の山道を歩いていると言うではないですか。みちのく潮風トレイルという名前の道として、昔の浜街道や、震災前まで賑やかだった集落や学校、商店街などがあった土地に思いを馳せながら歩いてくれているようで、大変嬉しいです。そこでこの店もスタンプポイントにさせていただいて、みちのく潮風トレイルを応援する知り合いの娘さんが手作りした新しいスタンプを置きましたので、是非押しに来てくださいね。

平田から吉浜までの間で買い物ができるお店はここくらいです。大して喜んでもらえるようなものは売ってないけれど、近くを通ったらどうぞ寄って、かだって(話して)いってください。



ひまわりの看板猫の姫ちゃんには沢山のファンがいます。
お店の中には絶対入らず、お行儀のいい、物静かな
姫ちゃんにみんなメロメロです。